新規・切替　一般旅券発給申請書　10年用

厳折り曲禁げ

受理年月日		受理番号		—	
窓口記入欄		区分	該当なし / 二重発給 / 訂正新規 / 切替新規 / 入力あり / 裏面あり	確認	
☑ 10年	発行年月日	交付年月日	旅券番号		

写真
写真は貼らずにお持ちください
注意
1. 申請者本人のみ
2. 6ヶ月以内に撮影したもの
3. 正面、無帽、無背景
4. 縦45mm×横35mm
（ふちなし。頭は頭頂から顎までが34mm±2mm）
*貼付した写真は旅券に転写されます

所持人自署

氏名	(姓)	(名)
ヨミカタ		
姓名		
ヘボン式ローマ字	(姓)	
	(名)	

性別	□男　□女	生年月日	年　月　日
本籍	(都道府県名)	市区郡以下	

今までに旧姓も含め旅券の発給を受けたことがありますか。　□ある　□ない
もし、発給を受けたことがある場合は、最後に発給を受けた旅券について記入してください。

旅券番号		発行年月日（西暦）	年　月　日
最後に発給を受けた旅券に記載の姓のローマ字			

この署名は旅券にそのまま転写されます。白い部分からはみ出さないように署名してください。
所持人自署については申請者本人が署名してください。ただし、乳幼児など申請者が自ら署名することが困難な場合は、法定代理人などが代筆することができます。
その場合には、「▷◁」印より上に申請者の氏名を記入し、「▷◁」印より下に記入者の氏名及び申請者との関係を記入してください。
（例えば、by A.YAMADA(Mother)
や by A.YAMADA(Father)など）

この申請書を提出する日の年齢　満　　歳

3日以内に紛失(焼失)届出を行っていますか。□はい

現住所　〒

電話　　携帯　　その他勤務先など

居所　〒　　居所で申請する場合は居所も記入してください

電話

日本国内の緊急連絡先　〒

氏名　　申請者との関係　　電話

刑罰等関係

※次の各事項に該当しているか否か、□をチェックしてください。（本人又は法定代理人が記入してください。）

	はい	いいえ
1.外国で入国拒否、退去命令又は処罰されたことがありますか。	□	□
2.現在日本国法令により起訴され、判決確定前の状態ですか。	□	□
3.現在日本国法令により、仮釈放、刑の執行停止又は執行猶予の処分を受けていますか。また刑の執行を受けなければならない状態にありますか。	□	□
4.旅券法違反で有罪となり、判決が確定したことがありますか。	□	□
5.日本国旅券や渡航書を偽造したり、又は日本国旅券や渡航書として偽造された文書を行使して(未遂を含む)、日本国刑法により、有罪となり、判決が確定したことがありますか。	□	□
6.国の援助等を必要とする帰国者に関する領事官の職務等に関する法律を適用され外国から帰国したことがありますか。	□	□

外国籍の有無

現在外国の国籍を有していますか。　はい □　いいえ □
「はい」の場合は、下の項目にご記入ください。
国籍
取得年月日　　年　月　日
どのような方法で取得しましたか。
・外国籍の父又は母の子として出生 □
・外国での出生 □
・外国人との婚姻又は養子縁組 □
・帰化申請又は国籍取得届出 □

外務省コード欄	03 13条	10 別名併記	14 暦外確認	0A 別人	0C 解除	0E 職権	0H 特例1	0K 特例3	0N 永住	官庁コード
	04 対立地域	11 非ヘボン	15 暦外表示	0B 失効	0D その他訂正	0G 再作成	0J 特例2	0M JICA		

外務省　都道府県

注意
一、太枠内の所定の欄に黒又は青の濃いインクで枠からはみ出さないよう記入してください。
二、この用紙は機械で読み取りますので折らないでください。折った場合は、申請書に改めて記入をお願いする場合もあります。
三、我が国固有の領土である北方領土（択捉島、国後島、色丹島及び歯舞群島）は渡航先には含まれません。
四、虚偽の記載をして、この申請書を提出し、又は旅券の交付を受けた場合等は、旅券法（五年《営利目的は五百万円》以下の懲役、三百万円《営利目的は七年》以下の懲役、四百万円《営利目的は五百万円》以下の罰金）及び刑法によって処罰されます。
五、この申請書に記入した氏名の表記は、外務大臣又は領事官が特に必要と認める場合を除き変更することができません。
六、申請書の個人情報は、海外での事故の際の援護等旅券発給以外の公の目的に利用されることがあります。

（別記第１号の２様式）　　用紙の大きさはA4又はレターサイズ